

風物詩

北摂屈指のえべっさん「豊中えびす祭」

全国でも珍しい「足の神様」として知られている服部天神宮では、毎年1月9日から11日まで、商売繁盛を祈願する豊中えびす祭が行われます。

ルーツを辿ると、昭和25年秋に遡ります。当時兵庫県宝塚市の花屋敷にあった社殿を譲り受け、服部天神宮の境内に移築、同年12月にえびす神社の総本社である西宮神社から蛭子命（えびす様）の分霊を迎えて、お祀りしました。そして翌年1月に、氏子、地元商店、豊中商工会議所の有志が中心となり、服部えびす祭として行われたのが始まりです。その後、商売繁盛を願う人、初詣に参拝する人、足の守護を祈願する人など、様々な参拝者で賑わうようになり、今では35万人もの参拝者が訪れる、北摂屈指のえべっさんとなっています。広範から参拝者を迎える祭となってきたことから、豊中のためになれば、との思いを込めて、平成15年に「豊中えびす祭」と改称して、現在に至ります。

この祭で参拝者に福を授けるのが、福娘。祭に先立って行われる「福笹付け始め式」などで祭をPRするとともに、3日間の祭で奉仕します。毎年30人ほど公募しており、多い年には、700人もの応募が殺到します。近年では、北摂地域だけでなく、奈良県をはじめ近畿一円を中心に、全国各地から応募があります。さらに、国際交流の橋渡しになれば、



との思いから、平成9年に外国人の方からも福娘の募集を始めて以来、毎年外国人の方も福娘を務め、その中には、海外の新聞で紹介された方もいます。昨年福娘を務めた韓国からの留学生の成恵珍（ソン・ヘジン）さんは、「韓国にはお寺はたくさんありますが、このような行事はありません。祭では、いろいろな方々と写真を撮るなどして交流できましたし、日本ならではの伝統行事に触れて、もう一步日本の文化に近づけました。豊中には、外国人を受け入れる空気があると思います。」と話してくれました。



最近では、賽銭に外国のお金も見られるなど、外国人の参拝者も増えてきているとか。足の守護、商売繁盛、国際交流と多彩な顔を持つ「豊中えびす祭」にぜひお越しください。

● お問い合わせ先 ●

豊中市政策企画部企画調整室

TEL : 06-6858-2088